

教育目標 しっかり学ぶ子 思いやりのある子 ねばり強い子

重点目標 想像できる子の育成～共に夢を叶える学校～



合言葉 わかる気！できる気！その気！

カムイト

猿払村立浅茅野小学校便り 令和4年1月31日発行 第10号

『ちょっとしたこだわり』～探求的な学びを習慣化しよう～

猿払村立浅茅野小学校長 荒谷 卓朗

◇知的好奇心を刺激する働きかけが探求的な学びの始まりです。オンライン始業式。つかみで見せた絵に「トラだ！」と反応する子。干支の漢字を問うと6年生が「寅」と答え、全員でウ冠を空書き。「動物の虎とは違うので調べてみてね。」その後、合言葉(わかる気・できる気・その気)ポーズでやる気スイッチを入れます。恥ずかしそうな様子の中に、個性が見えました。打てば響く和太鼓のように、浅茅野っ子の素直さ、真面目さが本当に可愛いです。

◆夢を語る時、人は未来を探求する旅人になります。掲示板に貼られた個人目標から一年の成長を感じます。冬休みの作品は動画で交流。牛の肉の部位をパズルで作り「おいしい話題」を提供した5年生。雪かきなど手伝いを頑張ったと告げる頼もしい6年生。地域で絵本の読み聞かせボランティアをした3年生。展示した作品(わりばし鉄砲)で遊んでくれて嬉しいと喜ぶ2年生。家族や祖父母と過ごした思い出を胸に、自分の願い・目標を語り、卒業・進級にむけて新たな挑戦の旅が始まりました。

◇クロカンは浅茅野ならではのスポーツ文化として受け継がれています。冬休み初日、クロカンコース開放で卒業生と一緒に滑りを楽しむ子どもの姿。年末年始の積雪で新コースもオープン、11日には晴天の中、地域おこし協力隊の春日井隊員と共にPR動画撮影。ドローン空撮+スノーモービル目線のスピード感を探求した巧みな編集により斬新なPR動画ができました！2/11(金)コース一般開放、村ホームページなどで近日公開。お楽しみに。

◆小4国語教科書にある落語教材「そろそろ」。教師の要望で落語出前授業の探求の中で生まれた本が『落語の授業 話す・聞く・思い描く力を育む』(三遊亭圓窓)です。タイトル通り、落語は「想像力」を高める伝統文化です。1/8(土)CS・各自治会と協働で浅茅野交流センターと遠隔地を結びハイブリッドで落語ワークショップを開催。小学生4名とその兄弟、保護者・地域住民含め20名が参加。落語教育家の楽亭じゅげむ氏の楽しいレクチャーで落語の基本を体験。また、民生委員、CS会長、PTA役員に句を詠んでいただき、ペップかるた(親守歌)で遊びました。また、575ペップ標語の読み合わせ、落語で575をつくるなど、言葉遊びを通じて世代を問わず一緒に楽しむ場ができた喜びは貴重な時間でした。

◇「落語には感情は入れ込まない」と言う立川志らく氏のオススメ映画「男はつらいよ」。「寅さん」名言を探求してみました。

満 男「人間は何のために生きてるのかな」

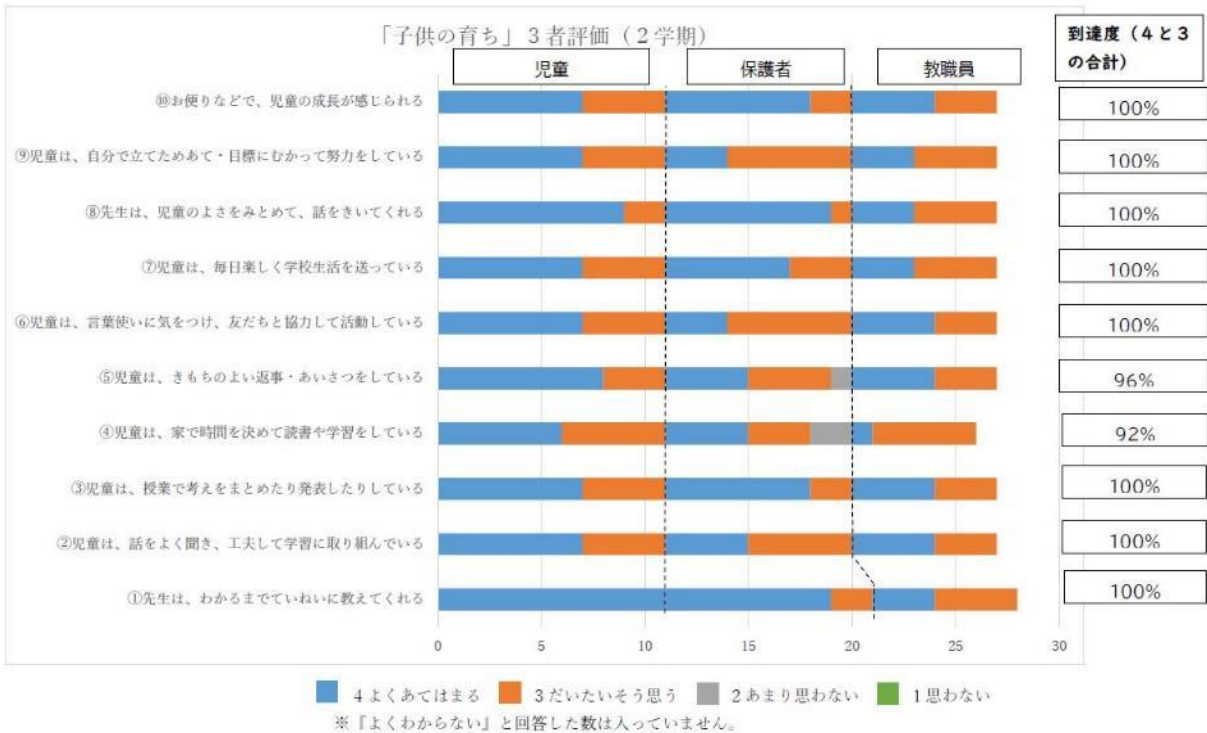
寅次郎「何て言うかな、ほら、あー生まれて来てよかったなって思うことが何べんかあるだろう、そのために人間生きてんじゃねえのか」(第39作寅次郎物)

世知辛い昨今、小さな楽しみ・喜びを探し求めて、次代に続く命を守りましょう。

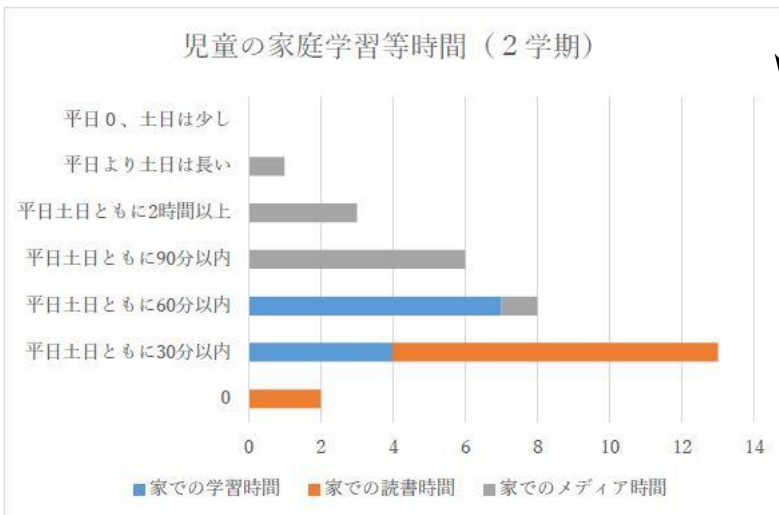


浅茅野小学校2学期学校評価

12月に、児童、保護者、教職員を対象に、2学期学校評価を行いました。この結果をもとに、3学期の学校教育に、そして令和4年度への教育計画にいかします。



【コメント】先生方も一緒に学校生活を楽しんでいるような雰囲気と、いろいろな学びを経験できる環境に感謝しています。/学校評価の項目数が減り、評価内容も子どもに関するだけでなく、形骸化しているように思います。



【分析】

- ・3者評価では、ほとんどの項目で、到達度100%となっている。しかし、項目③では、1学期と比べ、わずかに到達度が下がっている。（1学期は96%）
- ・項目④、⑤について、児童と大人で差が出ている。
- ・児童のメディア時間は、1学期と比べ少し減少した。
- ・児童の読書時間は、依然として短い傾向にある。

2月 行事予定

- 1日（火）新1年生1日入学（延期）
全校朝会
- 2日（水）クラブ活動 児童会
- 3日（木）節分集会
- 9日（水）児童会
- 10日（木）職員会議
- 11日（金）建国記念の日

- 15日（火）拓心中1日体験入学（6年生）
 - 16日（水）児童総会 クラブ活動
 - 17日（木）新年度対策会議
 - 18日（金）なかよし号
 - 23日（水）天皇誕生日
 - 28日（月）一輪車検定
- ※コロナ感染状況により、変更の可能性あり。